

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年1月14日

【四半期会計期間】 第20期第3四半期(自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)

【会社名】 ユナイテッド&コレクティブ株式会社

【英訳名】 UNITED&COLLECTIVE CO. LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 坂井 英也

【本店の所在の場所】 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル23F

【電話番号】 03-6277-8088

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 本郷 雄太

【最寄りの連絡場所】 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル23F

【電話番号】 03-6277-8088

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 本郷 雄太

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第19期 第3四半期 累計期間	第20期 第3四半期 累計期間	第19期
会計期間		自 2018年3月1日 至 2018年11月30日	自 2019年3月1日 至 2019年11月30日	自 2018年3月1日 至 2019年2月28日
売上高	(千円)	5,453,076	5,991,740	7,294,543
経常利益	(千円)	135,881	39,185	171,603
四半期(当期)純利益	(千円)	63,984	64,602	66,416
持分法を適用した場合の投資利益	(千円)			
資本金	(千円)	599,908	599,908	599,908
発行済株式総数	(株)	3,011,300	3,011,300	3,011,300
純資産額	(千円)	1,601,935	1,668,970	1,604,367
総資産額	(千円)	5,158,068	5,224,200	5,360,548
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	21.69	21.45	22.40
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)			
1株当たり配当額	(円)			
自己資本比率	(%)	31.1	31.9	29.9

回次		第19期 第3四半期 会計期間	第20期 第3四半期 会計期間
会計期間		自 2018年9月1日 至 2018年11月30日	自 2019年9月1日 至 2019年11月30日
1株当たり四半期純利益 又は四半期純損失()	(円)	2.32	0.32

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成していないため、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 持分法を適用した場合の投資利益については、当社は関連会社を有していないため記載しておりません。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期累計期間において、当社において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業業績や設備投資の改善、雇用・所得の持ち直しなどにより緩やかな回復基調にあるものの、保護主義を始めとする米国の政権への政策不安などから不透明感も増大しており、景気の先行きは依然として不透明な状況のまま推移しております。

外食業界におきましては、全体は引き続き緩やかな回復基調を迎える一方で、原材料費や店舗運営における人件費及び採用費は増加傾向のままであり、予断を許さない状況が続いております。さらに、台風の影響により交通機関が事前に運休の通知を行う等、異常気象がマイナスの影響を与えることも増えて参りました。

このような状況の中、当社では、引き続き「P I S P」戦略を継続して取り組み、食材と調理方法にこだわりさらなる商品力の向上とブランド力の強化に努め、新規出店も並行して行い「てけてけ」等ブランドの認知度を高めてまいりました。

当第3四半期累計期間は東京都内において4店舗、神奈川県に1店舗、大阪府に1店舗、フランチャイズ店1店舗の新規出店を行い、当第3四半期会計期間末日における店舗数は合計98店舗（前年同期比11店舗増）となりました。

以上の結果、売上高は新規出店による店舗数が増加したこと等により5,991,740千円（同9.9%増）となり、売上総利益は4,423,033千円（同8.5%増）、人件費が増加したこと等により営業利益は52,047千円（同68.3%減）、経常利益は39,185千円（同71.2%減）、四半期純利益は営業店舗物件の退店要請に伴う立退料を計上したこと等により64,602千円（同1.0%増）となりました。

なお、当社は単一の報告セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期会計期間末の総資産は5,224,200千円となり、前事業年度末と比較して136,347千円の減少となりました。これは主に借入金の返済や新規出店に伴い現金及び預金が486,052千円減少した一方、クレジットカード決済による売掛金の回収日が翌四半期にずれたこと等により売掛金が152,535千円、新規出店に伴い有形固定資産が107,710千円、敷金及び保証金が78,135千円それぞれ増加したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末の負債は3,555,230千円となり、前事業年度末と比較して200,950千円の減少となりました。これは主に借入金とその返済により226,082千円減少したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末の純資産は1,668,970千円となり、前事業年度末と比較して64,602千円の増加となりました。これは利益剰余金が四半期純利益の計上により64,602千円増加したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,045,200
計	12,045,200

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年11月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年1月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	3,011,300	3,011,300	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株式数 100株
計	3,011,300	3,011,300		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年11月30日		3,011,300		599,908		549,908

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、該当事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2019年8月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年11月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,009,500	30,095	単元株式数は100株であります。
単元未満株式	普通株式 1,700		
発行済株式総数	3,011,300		
総株主の議決権		30,095	

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が80株含まれております。

【自己株式等】

2019年11月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) ユナイテッド&コレク ティブ株式会社	東京都港区赤坂一丁目12 番32号アーク森ビル23F	100		100	0.0
計		100		100	0.0

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役 管理本部長兼経営企画部長	取締役 営業本部長兼営業企画部長	矢野 秀樹	2019年6月1日
取締役 営業本部長兼営業企画部長	取締役 管理本部長兼経営企画部長		2019年11月1日
取締役 営業本部長兼営業企画部長	取締役 管理本部長兼経営企画部長	本郷 雄太	2019年6月1日
取締役 管理本部長兼経営企画部長	取締役 営業本部長兼営業企画部長		2019年11月1日

第4 【経理の状況】

1 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期会計期間(2019年9月1日から2019年11月30日まで)及び第3四半期累計期間(2019年3月1日から2019年11月30日まで)に係る四半期財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

3 四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,662,034	1,175,981
売掛金	94,482	247,017
商品及び製品	32,382	40,060
原材料及び貯蔵品	5	414
その他	198,699	205,808
流動資産合計	1,987,603	1,669,282
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,995,269	3,231,119
減価償却累計額	856,685	1,027,622
建物（純額）	2,138,584	2,203,496
その他	332,749	415,783
減価償却累計額	191,510	231,746
その他（純額）	141,238	184,036
有形固定資産合計	2,279,822	2,387,533
無形固定資産	18,901	18,237
投資その他の資産		
敷金及び保証金	926,588	1,004,723
その他	147,631	144,423
投資その他の資産合計	1,074,220	1,149,147
固定資産合計	3,372,944	3,554,918
資産合計	5,360,548	5,224,200

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2019年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	326,554	390,485
1年内返済予定の長期借入金	559,902	607,558
未払法人税等	96,914	52,442
賞与引当金	39,978	54,618
その他	526,751	531,508
流動負債合計	1,550,100	1,636,612
固定負債		
長期借入金	2,049,812	1,776,074
資産除去債務	34,670	36,973
その他	121,596	105,568
固定負債合計	2,206,080	1,918,617
負債合計	3,756,181	3,555,230
純資産の部		
株主資本		
資本金	599,908	599,908
資本剰余金	549,908	549,908
利益剰余金	454,981	519,584
自己株式	432	432
株主資本合計	1,604,367	1,668,970
純資産合計	1,604,367	1,668,970
負債純資産合計	5,360,548	5,224,200

(2) 【四半期損益計算書】

【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年3月1日 至2018年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)
売上高	5,453,076	5,991,740
売上原価	1,378,407	1,568,706
売上総利益	4,074,669	4,423,033
販売費及び一般管理費	3,910,416	4,370,986
営業利益	164,253	52,047
営業外収益		
受取利息	7	10
受取配当金	1	1
保険料収入	2,343	1,350
その他	730	406
営業外収益合計	3,083	1,769
営業外費用		
支払利息	13,758	13,087
支払手数料	11,140	7
その他	6,556	1,536
営業外費用合計	31,455	14,631
経常利益	135,881	39,185
特別利益		
固定資産売却益	565	
営業補償金収入		100,000
特別利益合計	565	100,000
特別損失		
固定資産売却損	911	
特別損失合計	911	
税引前四半期純利益	135,534	139,185
法人税、住民税及び事業税	100,933	79,235
法人税等調整額	29,383	4,652
法人税等合計	71,549	74,583
四半期純利益	63,984	64,602

【注記事項】

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
減価償却費	193,952千円	216,317千円

(株主資本等関係)

前第3四半期累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)

株主資本の著しい変動

当社は、2018年7月31日付で、アサヒビール株式会社及び宝酒造株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期累計期間において資本金が199,874千円、資本準備金が199,874千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が599,908千円、資本剰余金が549,908千円となっております。

当第3四半期累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社の報告セグメントは、飲食事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
1株当たり四半期純利益	21円69銭	21円45銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	63,984	64,602
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(千円)	63,984	64,602
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,950	3,011

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年1月14日

ユナイテッド&コレクティブ株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 斎藤 昇

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 平山 謙二

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているユナイテッド&コレクティブ株式会社の2019年3月1日から2020年2月29日までの第20期事業年度の第3四半期会計期間（2019年9月1日から2019年11月30日まで）及び第3四半期累計期間（2019年3月1日から2019年11月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、ユナイテッド&コレクティブ株式会社の2019年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。